

コロナウイルスの影で大增殖するコンピュータウイルス

コロナ禍の今！

テレワーク

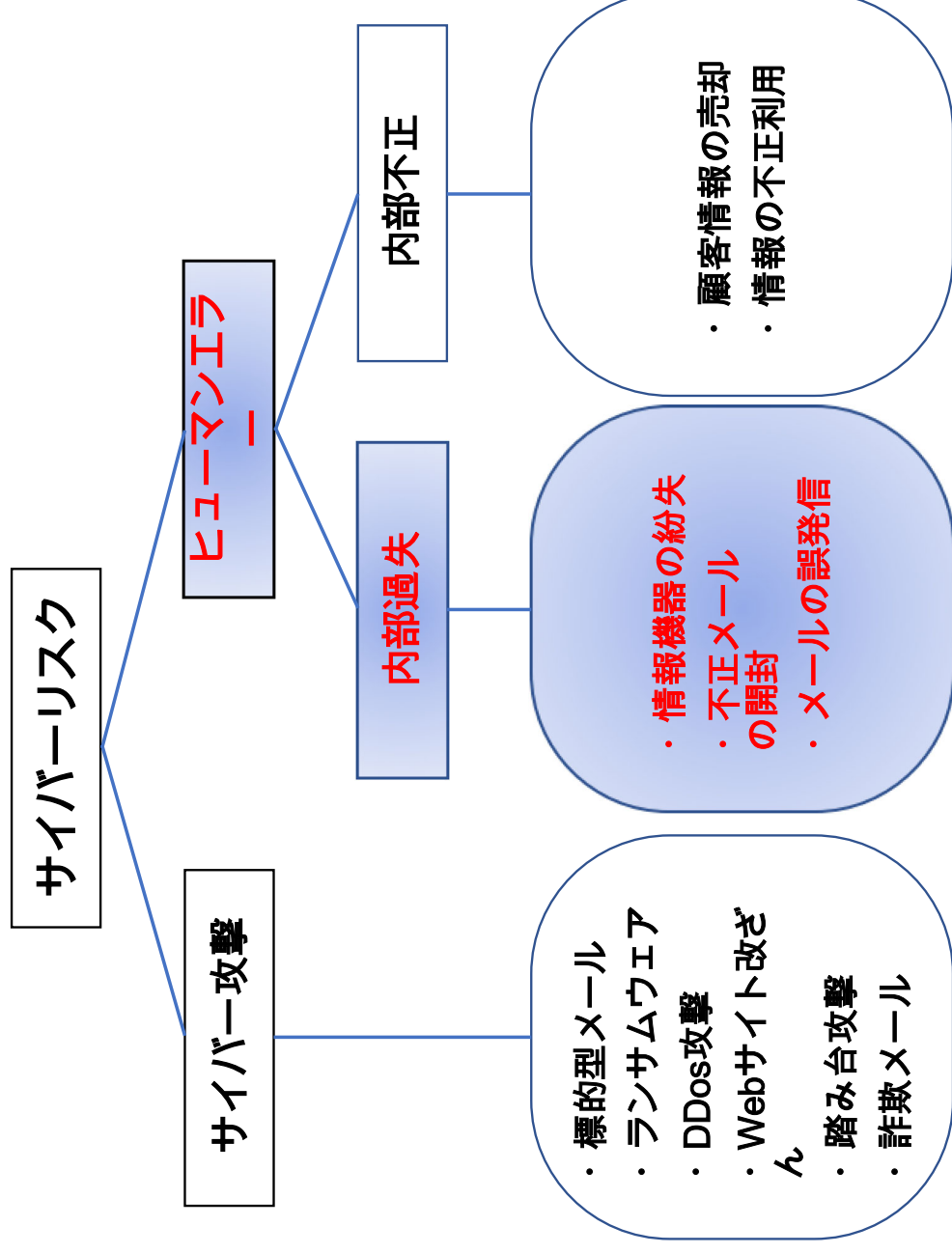
リモート

サイバー攻撃は以前の

600倍に増えているとも！

悪気のない1人の社員のたった1度の「うっかり」が手遅れにつながります...

サイバーリスクの原因は
サイバー攻撃だけではない
ヒューマンエラーは防げない



サイバーセキュリティ10大脅威

順位	脅威	分類
1位	標的型攻撃による機密情報の窃取	サイバー攻撃
2位	内部不正による情報漏えい	ヒューマンエラー
3位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	サイバー攻撃
4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	サイバー攻撃
5位	ランサムウェアによる被害	サイバー攻撃
6位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	ヒューマンエラー
7位	不注意による情報漏えい（規則は遵守）	ヒューマンエラー
8位	インターネット上のサービスからの個人情報 の窃取	サイバー攻撃
9位	IoT機器の不正利用	サイバー攻撃
10位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	サイバー攻撃

サイバーセキュリティの主な予防対策

まずは**予防対策**！

いくつできてますか？

1. **USBメモリ等情報持ち出しルールの徹底**
2. **社内ネットワークへの機器接続ルールの徹底**
3. **IT機器等の修正プログラムの適用**
4. **セキュリティソフトの導入および定義ファイルの最新化**
5. **定期的なバックアップの実施**
6. **パスワードの適切な設定と管理**
7. **不要なサービスやアカウントの停止または削除**
8. **不審なメールは開かない**
9. **ソフトウェアをインストールする際のルールの徹底**
10. **パソコン等の画面ロック機能の設定**

サイバーリスクはゼロになりません

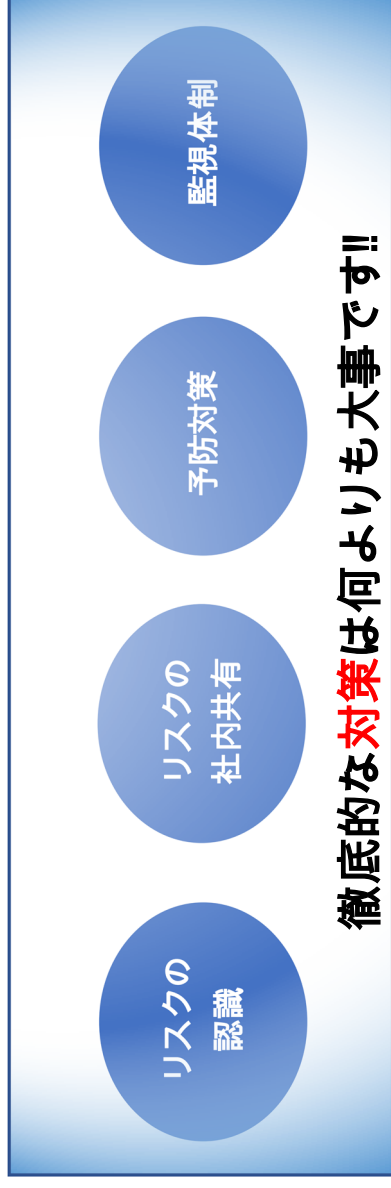
全てといっても過言ではなく、現代社会においてはあらゆる企業が**インターネット**を活用しています。

また、**5G・6G**とめまぐるしく進歩するIT技術の波は、これからも企業活動の核となるのは間違いありません。

更には**新型コロナウイルス**による**パンデミック**の影響で、そのスピードは革新的に加速します。

しかし、IT技術を使うのは私たち人間であり、そこに、**ヒューマンエラー**は必ず発生します。

リスクを限りなく最小限に抑える努力は、企業の命題ですが、**ゼロにすることは不可能**です。



それでも...

リスクはゼロになりません

事故が発生すると、どのような事が起きるのか？

《原因》

サイバー攻撃

ヒューマンエラー

《事象》

ランサムウェアに感染

不正アクセスで個人情報漏洩

DDoS攻撃のターゲットに

サーバーの感染で全システムが長期間停止

クレジットカード情報が漏洩

偽装メールが開封員が感染

個人情報を社員が名簿業者に売却

社員の情報機器の紛失・企業の情報漏洩

《結果》

損害賠償金

事故対応費用
原因調査費用

現状復旧費用
再発防止費用

事業中断による
利益損害

損害をカバーする「保険」があります

サイバー保険

※商品名は保険会社によって異なります

サイバー保険は「結果」をカバーします

【基本補償】

「損害賠償」に関する補償（概要）

「IT事業者」としての業務の遂行、「ITユーザー」のネットワークの所有・使用・管理に起因して発生した、

第三者の事業の休止や阻害、情報漏洩等について、法律上の損害賠償責任をカバーします。

※情報漏洩に関してはITに起因しない事故も対象

「費用」に関する補償（概要）

不正アクセスや個人情報漏洩が発生した場合に、様々な事故対応費用（事故発生のおそれの場合を含む）

【初期対応費用・原因調査費用・データ等の復旧費用・再発防止費用など】をカバーします。

※情報漏洩に関してはITに起因しない事故も対象

【オプション】

「事業中断」に関する補償（概要）

不測かつ突発的なネットワークの操作過誤や不正アクセスによって、ネットワークを構成するIT機器等が機能停止することによる、その期間の利益損害や営業継続費用をカバーします

サイバー保険のお見積りを！

○業種を教えてください

○年間売上を教えてください（IT事業者様はIT業務の売上のみ）

保険料がどれ位になるのか？

これは重要な問題です。

この2項目を教えてくださいただことで、**概算の保険料**
を算出
いたします！

まずは、
お見積りをとってみてください！